

# 菊の会だより

“心を踊る”

菊の会は古典舞踊の  
研鑽に励み  
明日の新しい民族芸能の創造に  
情熱を燃やしています

[発行]

舞踊集団 菊の会  
代表 畑 道代

〒151 東京都渋谷区初台1-45-6  
電話 03-3320-6001(代)

## 創立20年目を迎えて 新たな出発を



代表

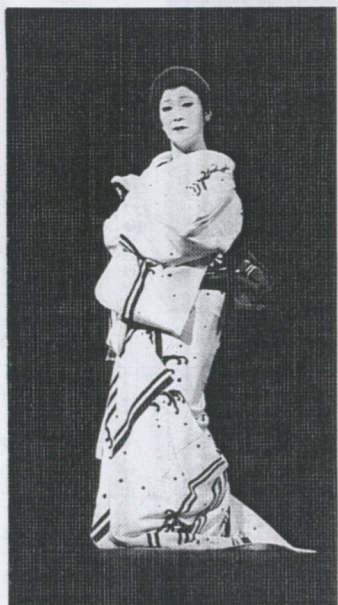
畑 道代

### 新年あけまして おめでとう ございます



良いお正月をお迎えになり、益々御健勝の事と存じます。お陰様でいよいよ本年四月は菊の会も創立二十周年を迎えます。これもひとえに皆様の絶大な御引立や御支援の賜と心から感謝し、厚く御礼申し上げます。日本の伝統芸術の素晴らしさに魅せられてこの道を目指し菊の会を創立、現在まで舞踊団としての作品づくりや人材育成に微力ながら頑張ってきました。

平成三年元旦



▲「おどり風土記」の畑道代



▲「風道」のクライマックスシーン

一般に十年一昔というが、十年の年月も人生のどの時代の十年であるかによって、その内容もその年月への思い入れも変わってくる。そして人生にたとえてみると、二十年という年月は、人によって多少違うにせよ凡そ人生の節目節目にあたると思える。最初の二十年を成長期とすれば、次の二十年は成熟期であろう。今菊の会が二十年という年月を聞いたということは、

## 祝 菊の会二十年

菊の会友の会  
会長 神谷 龍

まさに成長期から成熟期へと脱皮する節目にあたっての言葉。

菊の会は現在教室数が二十、友の会も支部二カ所、会員数も千名を越えた。規模から言えばこれから成熟期に入ると言っても良いと思う。しかし菊の会の本質である「芸」の道から言えば、節目であるか否かは個々の人々の自覚の問題であり、形に現れるものではない。後になって、二十年のあの時が一つの節目になって菊の会の踊りは成熟に向かった、と思える様であればそれは本当に素晴らしい事だと思える。

菊の会の二十年を心からお祝いすると共に一層の精進をお願いする次第である。

また友の会も現在の形になって十年、菊の会を物心両面から支える会として、益々基盤を充実させるよう会員の皆様と共に努力したいと考えている。

(鹿島建設顧問)

# 友の会

## 創立20年目を迎え 新たな喜びで出発!!

各支部長が抱負を語る



▲八王子日本閣においてのアトラクション

### 八王子支部

支部長 藤林 良昭



本年は菊の会にとって、創立二十周年にあたる意義ある素晴らしい年であることを心からお祝い申し上げます。

日本の文化の象徴ともいえる菊の会のおどりを、日本国内はもとより世界各国に公演し、世界との文化交流、世界平和のかけ橋の為に、前進される菊の会の皆様や、またそのために全魂こめて日夜、活躍されている菊の会の代表、畑代表に心から敬意を表します。

私は菊の会に縁し菊の会のお陰で私自身の心にもゆとりを感じるようになり、それによって良い仕事ができる様になり、今、最高に素晴らしい人生を送っております。

友の会八王子支部は菊の会発展の為に、団結出来る支部を形成し、友の会会員の増強と経済面で菊の会を支援できる支部として大きく成長していくことを決意し本年の抱負とさせていただきます。

### 東村山支部

支部長 長谷川 正美

素晴らしい民音菊の会公演が先日、五反田ゆうほうとして行われました。

この開催に際し東村山友の会支部では支部員が思い切り取り組む事が出来ました。

チケットをさばき切ったその力て次は友の会の会費募集だ!

「会員千名の大台突破は東村山支部では支部員が思い切り取り組む事が出来ました。」

### 東村山支部結成



▲支部結成祝賀会であいさつする畑代表

支部の責任で行おう!が今の皆んなの合い言葉です。「畑代表お待たせしました、東村山支部は第二期菊の会友の会への新時代を築いて参ります」友の会二千名三千名、五千名、一万名の新時代に東村山支部は新たな喜びで出発致しました。地域と大衆が芸術を育む、本物の時代の到来だ! 私達の使命は大きい。芸術は世界の共通語だ!だから世界の菊の会に発展させる事を目指し、東村山支部は思い切り行動します。畑代表ご安心下さい。

### 埼玉支部

支部長 染谷 善七

「文化という大地を根本にした場合、政治であれ、経済であれ、すべて素晴らしい花が咲くでしょう」との提言を意に体し「菊の会」創立以来、畑代表は困難な状況に遭遇しながらも、創立二十周年を迎えようとしております。日本文化の維持発展のために、誠に壮烈とも言うべき献身的な努力を傾注している畑代表に対して、心から敬服申し上げます。

昨年十一月十五日に二十番目の教室として、埼玉の越谷教室が発足し、又上福岡教室も、男



▲川越で結成された友の会埼玉支部

## 平成三年度の友の会会員を 広く募集しております

友の会は、菊の会の活動に賛同し、あらゆる面でその活動を支援してきました。最近では、友の会の催しも盛んになり、菊の会の海外公演や地方公演を鑑賞したり、又日本各地の民族芸能の鑑賞ツアーや懇親パーティーなど多彩に行っています。また、友の会支部も八王子支部に続き、東村山支部、埼玉支部も結成され、各地域とも活発な活動を展開しています。今後益々菊の会の存在が大切な時代になって参りました。菊の会への御支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

会費は年間次通りの通りです。

- 正会員 一口 1万円
- 法人会員 一口 5万円
- 賛助会員 一口 5万円

※詳しくは菊の会事務局までお問い合わせ下さい。お待ちしております。(菊の会事務局TEL3320-6001)

### 菊の会友の会 旅行会

### 郡上への 盆踊りに参加



郡上踊りの魅力に誰もが酔いしれた

小嶋 昭

菊の会の定例旅行会ももう何回になりますか、一回欠席しただけであとは大体参加してはいますが、いつも楽しい思いをさせて頂いています。此頃は地方の踊りの行事への参加や鑑賞を兼ねて行っておりますので、また興も深くなりました。今年は郡上八幡の盆踊りを兼ねて行きましたが、さすがに菊の会の面々、郡上踊りの免許をもらった人も何人か居た様でした。一人で演じる人形芝居「竹原文楽」も日本の古き良き大道芸の伝統を思わせて楽しいものでした。しかしこの様な催しの楽しさは、何と云っても多勢の人達と日頃出来ない会話を楽しんだり、楽しいお顔を拝見する事でしょう。皆様とのつながりを大切に、来年も又楽しみに参加したいと思っております。



# ウイラブアジア友の会

会長 鈴木 八重子



感動のフィナーレ

日本人ならではの微妙な情緒とは、まさにこの四季によってもたらされて来たものだといえる。自然によってはごくまれな大地への讃歌——その新鮮な空間と透明感のある舞台は多くの人を魅了した。

## ひびけ！ 平和のしらべ



### 鹿島に ひまわりグループ 仔鹿グループ誕生!!

茨城県鹿島の教室に行くには東京駅から鹿島線で2時間、毎月4回大人教室に加藤担当講師、子供教室に枝木美佳担当講師が通って熱心な教室の皆さんのお稽古をつけて10年になります。子供教室が出来た当初幼かった方達が今では立派に成長、東京のメンバーに負けるな追い越せと健気で熱心な稽古を続けて来ました。この度念願かなって鹿島ひまわりグループ、仔鹿グループ結成の運びとなりました。これからは地道な稽古を重ね大きな花を咲かせてほしいと期待がよせられています。

現在26名の方々が毎水曜日教室に通い、明るく楽しく稽古に励んでいます。文化の町、越谷にふさわしく「地域に根ざし、充実した教室を目標に頑張ってください」と期待がよせられています。

「日本の心」を呼び戻すような菊の会のひとり一人の心の演技は、舞台の袖で見入っていたアジアの人々の心をも揺り動かしました。礼儀の正しさ、言葉使いのやさしさ、人へのいたわり、自らを律する心、そのひとつが、師、畑先生の心を写しているように今回のステージのまさにテーマでもありました。

朝鮮、韓国、沖縄、文化の源をなす民族の踊り、太鼓の音、熱唱する声、踊るひとり一人の跡を見る思いで、心こみあげてくるものを押さえる事ができませんでした。フィリピン、カンボジア、ベトナム、ラオスの人達は、みんな海の彼方の祖国に思いを馳せ、いつの日か家族

みんなが祖国で暮らせる幸せを祈る思いで平和を念じた事でしょう。児童合唱団の歌声が、アジアの人々の平和への願いを二

十一世紀に繋ぐ心の懸け橋のように、力強く心に残りました。どうぞ、菊の会の皆さん頑張って下さい。

サーフ'90実行委員会主催による「相模湾アーバンリゾートフエスティバル」が四月二十九日より一六五日間「人と海の共生」をテーマに、江の島海岸渚のステージで大きく繰り広げられました。その時、その一環として八月十二日海が結ぶアジアデー「ウイラブアジアコンサート」が神奈川県、県国際交流協会、かながわ民際協力ネットワークの共催で行われました。参加国はインド、インドネシア、朝鮮半島、中国、カンボジア、ベトナム、ラオス、フィリピン、日本からは舞踊集団菊の会、沖繩芸術団、箏曲宮下伸とゆかり会、滝ともはるとリアルタイムバンド、藤沢連合児童合唱七団体二五〇名が参加し、出演総数五〇〇名にのぼる出演を頂きアジアの永遠の平和を願って、感動と華麗なステージを展開、三〇〇〇人の観衆を魅了しました。オープニング、舞踊集団菊の会の和太鼓が「ドーン」と響き渡り夕暮の海にこだましました。在日アジアの人々の平和への願いが、今尚、内戦の続くアジアの果てに届けとばかり、心に響きました。日本の伝統芸能集として、嵐の序曲、北海道漁節、津軽じょんがらと続きました。今とすれば日本が失いかけてい

## 文化の町越谷に教室誕生！ 地域に根差した教室を

シンガポールへは菊の会が設立されて間もない頃公演し、あの美しい街並の緑と高層ビルが調和した風景と共に良い思い出となっています。又、フィリピンでは菊の会メンバーの舞台姿が地元新聞に大きく報じられて話題となり公演も好評でした。本年秋には、イギリス公演も予定されており、文化のかけ橋としての使命にメンバー一同心を燃やし稽古に励んでいます。

の言葉が寄せられました。二部では「杓子舞」や「麦屋節」が披露され、菊の会公演メンバーの力強い祝い太鼓が越谷教室の船出にふさわしく鳴り響きました。菊の会の踊りを初めて見た館林より参加のHさんは、「大変満足致しました。越谷教室に是非通いたい」との思いを述べていました。杓子舞を踊った出演者の御家族の方から「娘や嫁の舞姿に、涙がこみ上げて来ました」と感想が寄せられ、又、畑道代表の素晴らしい感動し、一句が届けられました。



本年菊の会創立二十周年目を迎え、それに先だって昨年十一月十五日、二十番目の教室が越谷に発足、越谷コミュニティセンターに於いて百三十名の方々が参加する中、盛大に発足の祝賀会が開催されました。来賓として、衆議院議員山田英介氏、越谷市助役吉田信一氏をはじめ菊の会畑道代表もお祝いにかけつけて下さいました。一部では発足の喜びと経過が報告された担当の加藤洋子講師を紹介、来賓の方々からも心温まるお祝い

## 海外に 文化のかけはし

菊の会はこれまでに文化交流使節として、二十数ヶ国に渡航し海外公演を行って参りました。その功績に対し一九八六年に外務大臣より表彰を受けました。最近では毎年二回から三回の割合で海外へ参りますが、昨年は

二月に十日間のシンガポール公演（日本民族芸能国際交流協会）七月に二十日間オペラの二期会のフィリピン公演に参加。



民音主催で行われた日本のおどり。風道は各地大成功のうちに幕を閉じた。今回の内容は、畑道代構成振付、本條秀太郎音楽による菊の会のおはこ民謡集「おどり風土記」で開幕、約三十分、若いエネルギーが爆発するスピードディナミックな舞台転換から続いてユーモア溢れる狂言舞踊、常磐津「釣女」は多くの人に喜んでもらえた。そして最後の前田哲彦演出・美術、畑道代振付、音・山本直、照明・足立恒、大道具・大川正、舞台監督・依田直之による四季の抒情「風道」。我々にとってごく自然にとけ込んでいる四季の移りかわり——

## 民音公演



▲ 厳寒の中を進む男達(冬の景)

## 洗練された舞台に鮮やかに表現 人間と大地への讃歌“風道”

## 三年目を迎えた 学校公演



明日の日本を担いゆく子供達には非日本の芸能に触れてもらいたい……との思いで始まりました菊の会の学校公演も、今年で三年目を迎えました。平成元年九月二十日、神奈川県を皮切りに東京埼玉の中学、高校を対象に二時間の内容で二十校の公演が行われて来ました。一部では、日本の古典芸能の祝賀舞踊と太鼓教室。二部では日本各地の民族舞踊をスピードディーに展開させる構成で、特に太鼓教室では生徒や教師のみならずも舞台上に参加し様々な打ち方に挑戦、次第に盛り上った公演となりました。これからも二十一世紀を担う若い世代の心にもいつまでも感動として残る舞台を目指して頑張っています。そこで横浜の中学校での感想を飛田教諭にお伺いしました。

### 「日本の心を躍る」を観て

飛田 泰弘

日本の経済が発展する中で消滅に向う古い民族芸能を、中学生という多感な時期に日本人として一度は観ておきたい、という主旨で「日本の心を躍る」を選ばせてもらいました。はたして生徒たちが古い民族芸能を理解できるか不安もありました。だが始まってみるとエネルギーが溢れる太鼓や踊りに引きつけられ、ステ



▲ フィナーレ「せり込み蝶六」